



## 人口 Human population

日本の社会構造は、少子高齢化に伴う人口減少によって、今後数十年スケールで大きく変化します。少子高齢化と人口減少は、地域社会や経済への影響だけに留まりません。人口の時空間的な変動は土地利用の変化を引き起こし、その影響は生物多様性の保全や生態系サービスのサステナビリティにも波及するでしょう。

例えば、里山の手入れや中山間地の森林施業は、十分な人手を確保することが困難になり、管理を持続することができなくなるでしょう。里山のような管理された二次的生態系には、人為攪乱に適応した希少種や絶滅危惧種も多く存在します。私たちの研究プロジェクトでも、里山環境が日本の生物多様性の保全に対して貢献していることが明らかになっています。したがって、里山の管理放棄は、生態系の遷移を進め、二次林や二次草原や耕作地など、人が管理することで維持されてきた生息地を消失させ、結果的に、里山に適応した生物種の存続を危うくするでしょう。このように、日本の人口減少と土地利用変化は、生物多様性の保全利用に関わるリスクになります。

### ■ 関連リンク ■

里山が消える： 高齢化・人口減少による土地利用変化と生物多様性の保全

<https://note.com/thinknature/n/nbe19feec6caa>

環境研究総合推進費プロジェクト

「環境変動に対する生物多様性と生態系サービスの応答を考慮した 国土の適 応的保全計画」

[https://www.erca.go.jp/suishinhi/seika/pdf/seika\\_2\\_05/4-1802.pdf](https://www.erca.go.jp/suishinhi/seika/pdf/seika_2_05/4-1802.pdf)